

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 鶴ヶ島市における子どもの貧困対策（40分）</p> <p>いま、日本では、約7人に1人の子どもが貧困状態にあるといわれています。日本における子どもの貧困は、その多くが一見しただけではわからない「相対的貧困」と呼ばれるものです。相対的貧困は、絶対的貧困と比べて外見からはわかりにくく、子ども自身が「助けて」と声を上げることも難しいため、「見えにくい貧困」といわれます。そのために支援が遅れ、苦しい生活の中で、子どもたちが未来への希望や夢、自己肯定感を失っていくことが心配されます。</p> <p>子どもの貧困問題を理解するためには、この「見えにくい貧困」の中で育つ子どもたちの問題を理解することが最初の一步であり、貧困の連鎖を断ち切るためには、社会全体で子どもを育てる環境を整えていく必要があります。</p> <p>そこで、本市における子どもの貧困に対する考え方と対策について、以下質問致します。</p> <p>(1) 本市における子どもの貧困の現状は。</p> <p>(2) 子どもの貧困がもたらす問題とは。</p> <p>(3) 子どもの貧困対策としてすべきことは。</p>	市長 教育委員会教育長